番号りのない高齢者の対応について

	症例1	症例2	症例3	症例4	症例5	症例6	症例7	症例8	症例9	症例10	症例11	症例12
①ケース紹介	87歳　男性　独居　元々ADL自立 病名：脳梗塞 現在ADL：ベット上全介助、経鼻栄養、発語あり、失語あり、認知機能低下 年金：20万/月	91歳　男性　独居　元々ADL自立 病名：脳梗塞、誤嚥性肺炎 ADL：全介助、経鼻栄養、痰吸引あり	73歳　男性　独居　元々ADL自立 病名：食道狭窄部下血痛、脳梗塞、肺炎、長谷大動脈瘤、河北病院ブロック 現在：ADLベッド上全介助、栄養点滴、痰吸引、尿管カテーテル挿入、認知症、歩行不可、ブロック高い病院あるも本人治療希望せず、退院先検討必要	67歳　男性　ひさん	67歳　男性　ひさん 病名：女下肢閉塞性動脈炎・右下肢壊疽参照脳梗塞後遺症 18：30　川崎駅南口のロータリーで倒れ込んでいるところを発見（人が目撃して、救急車通報）。ご近所さんからホームレス生活をしていた。冠動脈狭窄なし	79歳　男性　路上で生活されていた 病名：左被殻出血 高知脳梗塞、高血圧、糖尿病、心不全、慢性腎不全、右下肢閉塞、脳出血、左被殻出血 ADL：全介助、経口摂取、右下肢壊疽、慢性腎不全、左被殻出血、右下肢閉塞、右麻痺、右視野欠損、右半盲、言語障害、認知症、ADL全介助	88歳　男性 病名：心筋梗塞 ADL：歩行困難、2型糖尿病、心不全 介護保険未申請（入院中に申請） 地域包括支援センター介入中の方。近隣と日常的に、関係者に公共部分に連作で連絡 本人の発表と世界 生の修復で救急搬送され、2度目の搬送。1度目は、心筋梗塞で心筋梗塞を起し、急性期治療後、心筋梗塞を防止目的で、ステント挿入。 救急搬送後直後に、ICUに入室。 2度目は、1度目の搬送から、約1週間後に、再梗塞を起こし、ICUに入室。 その後、救急搬送後直後に、心臓カテーテル挿入。 救急搬送後直後に、ICUに入室。 救急搬送後直後に、ICUに入室。 救急搬送後直後に、ICUに入室